

みなさんこんにちは。

私がミニ MBA を受講しようと思ったキッカケは、私自身が人事の育成・採用の責任者を務める中で、漠然とながら将来は経営者になりたい、そのための準備をしたいと思っていたところに案内をいただいたことです。最初は求められる受講者年齢層と少しずれてるかなと思っていたのですが、若手から大ベテランの方まで参加されていて、学ぶ意欲に年齢など関係ないことをあらためて気づかされましたし、自分自身一歩踏み出して良かったと心から思っています。

また、従事している仕事や経験値も関係ないです。自身の過去の経験の棚卸し、あるいは未来のチャンスをつかむための自己投資と考えられると良いと思います。

私がミニ MBA を受講して得た value は以下 3 点です。

①経験×知識が体系化された

大学の時に経済学部や経営学部の授業で理論を学んでも実践していないのでピンと来ていなかった部分もありますが、社会に出て MBA 科目を実践したからこそ、改めて理論を学ぶことで自分の経験×知識が体系化されたと感じています。リカレント教育としても非常に役立つものでした。

何となく組織や会社の慣習、当たり前になっているものが正しいと思いながら日々過ごしてしまいましたが、セオリーを学んだ上で状況に応じて柔軟な対応をしていくことが必要だと改めて感じました。

②自分ごとに置き換えることでよりリアルさが増す

1つ1つの講義を聴きながら自分の会社や仕事に置き換えたなら？と考える、会社のメンバーに学んだ内容を共有する（とてもよい復習になります）、など講義を聴くプラスαのアクションを起こすと学びが増幅されると思います。

③積極的に発言することで学びが増幅する

大住先生は理論と実践に裏打ちされた講義をされるだけでなく、日本社会に対する高い視座からの問題提起もされ、良質な議論を促していただけるので、自分が考えていることを臆せず発信していくことで、学んだことがさらに深まります。もし、これまで発信する機会が少なかったと感じる人は、練習と思って意見を出してみてください。きっと新しい気づきが得られます。（私の場合はこれからの採用の姿について、自社の経営層とディスカッションするような感覚で議論させていただきました）

社会人は準備をしている者にしかチャンスは訪れません。もし少しでも興味をお持ちであれば、一歩踏み出して参加すること、そして参加する以上は継続して出席することをお勧めします。高い志を持った同志が一人でも増えることを願っています。

私の経歴

- 2000年 神戸大学経済学部卒
- 2000年 株式会社NTT データ入社、金融システムの開発に従事
- 2015年 人事本部に異動、人財開発担当、採用担当の責任者を歴任
- 2019年 金融分野全体のグローバル推進するポジションに異動

2019年6月30日記

(naohugol@gmail.com)

ミニ MBA・6期生としての推薦文という名の感想文にて、当講座の受講をお薦めさせていただきます。

①私がミニ MBA 受講に至るまで

学生時代は研究室で実験（と部活動）にマイペースに明け暮れる日々を過ごしていました。しかし社会人となり、会社・組織に属する中で、目の前の業務を追うだけではなく、自分が身を置く組織がより良くなるためには何が必要か、会社組織はどのような考え方をもとに動くものなのか、ということをもっとよく考えるようになりました。同じころ、本講座が開催されていることを知りました。経済学にも興味があったこと、また、多様な異なる環境にいる方々と組織に関する話ができる場があればと考えていたこともあり、受講を決めました。

②どんな形式だったか？

毎回予習したテキストを基に大住先生が解説し、適宜質疑やディスカッションを行う形式です。書き下ろしのテキストは非常に充実しており（毎期更新）、また課題・推薦図書等を紹介戴きました。受講後はレポート作成＋オンラインでの意見交換、時にプレゼンテーションの場もあるなど、アウトプットの機会も多くありました。

③実際受講してみてどうだったか？

経済・経営学等の知識を体系的に学ぶだけではなく、複数の視点を持ちながら考えるトレーニングの機会でもありました。正直なところ、社会人3年目の経験不足は感じ、過去経験しなかった、或いは所属組織に該当しないと思われた内容については、自分の現実と結びつけることを難しく感じることがありました。しかし、理論や他社事例と、自分の知識、環境、経験とのギャップを把握すること、視点を変えながらギャップを埋めたり組み合わせたりすること、そして定期的なアウトプットにより、思考の幅が広がったと感じています。学んだ理論と身についた考え方は、今後に活かせると考えています。

クラスの雰囲気として、神戸大卒という共通項により、比較的安心感をもってゼミに臨めました。私自身、オンラインでは積極的ではなかったものの、意見交換をしやすかったように思います。異なる年代やバックグラウン

ドをもつ方々との、そして時に国内外で活躍中のOBの方々も参加してのディスカッションは（ビールも手伝って）垣根がなく、刺激の多いものでした。

積極的になるほどタフですが、好奇心をくすぐられ、得られる知識量や定着度合いなど、独学と比べたメリットはとて大きいと思います。（費用面は言わずもがな！）

実務経験豊富な方も、社会人経験が浅いからと迷われる方も、少しでも興味がありましたらぜひご参加を！単なる学びの場ではなく、関わり方次第で面白い化学反応（協業）が起こることにご期待ください。

2019年7月1日記

(paquita.9191esmeralda@gmail.com)